

論文作成における生成 AI の利用とオーサーシップに関して

日本シミュレーション医療教育学会雑誌では、COPE¹⁾の見解、WAME²⁾の勧告、ICMJE³⁾の勧告に基づき、「大規模言語モデル・画像生成モデルなどを基盤とする生成人工知能（AI）、その他これに類する技術」（以下、生成 AI）の利活用の在り方について、改めて学会員の皆さまにはご留意いただきたい点を以下にお示しいたします。

生成 AI の著者資格（オーサーシップ）について

生成 AI は、論文内容に対する説明責任を果たすことができず、また、著作権法で定義される「著作者」には該当しないと考えられます。そのため、生成 AI を著者または共著者として論文に記載することはできません。あわせて、今一度「不適切なオーサーシップ」についても十分にご留意ください。以下に改めてお示しいたします。

ギフトオーサーシップ：研究および論文作成に対する実質的な貢献が不十分であるにもかかわらず、当該研究者への配慮や慣行等を理由に著者として名前を記載すること。実質的な貢献のない著名な研究者の名前を加える場合も含まれます。

ゴーストオーサーシップ：研究論文作成に相当の貢献をしているにもかかわらず、意図的に著者から除外すること。

出版倫理および研究倫理の観点から、著者資格および共著者の妥当性については、十分にご検討いただいたうえで、ご投稿くださいますようお願いいたします。

生成 AI 使用に際しての留意点

論文作成にあたり、生成 AI を使用する場合には、以下の点について著者自身が責任をもってご確認ください。

- ・ 生成 AI によって作成された情報の内容が正確であるか
- ・ 引用情報および先行研究の原典が適切に示されているか
- ・ 著作権をはじめとする第三者の権利を侵害していないか
- ・ 生成 AI 使用により、個人情報の漏洩等、出版倫理に抵触する事態が生じていないか

生成 AI 使用の開示について

生成 AI を支援ツールとして使用した際は、論文内の適切な箇所において、その使用の開示をお願いいたします。

2026 年 1 月

日本シミュレーション医療教育学会
編集担当理事 今福輪太郎

資料

- 1) COPE: <https://publicationethics.org/guidance/cope-position/authorship-and-ai-tools>
- 2) WAME: <https://wame.org/page3.php?id=106>
- 3) ICMJE: <https://www.icmje.org/recommendations/>